

江別地域における多職種連携研修会について（開催結果）

平成30年11月21日（水）

18時30分～20時50分

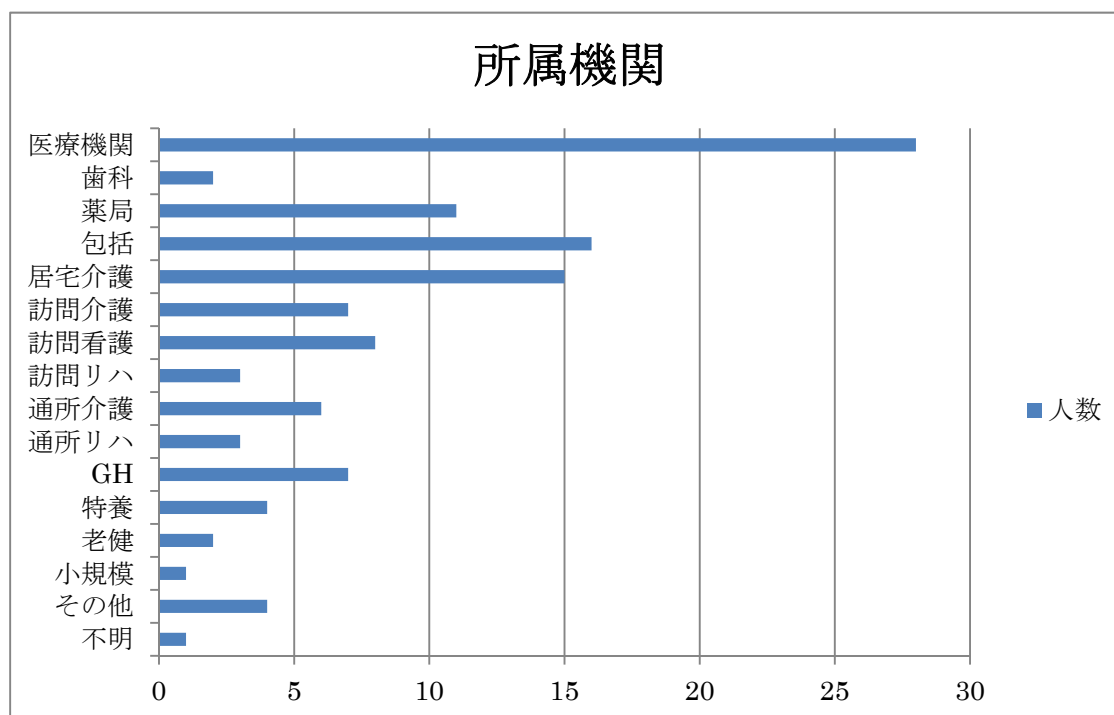
江別市民会館小ホール

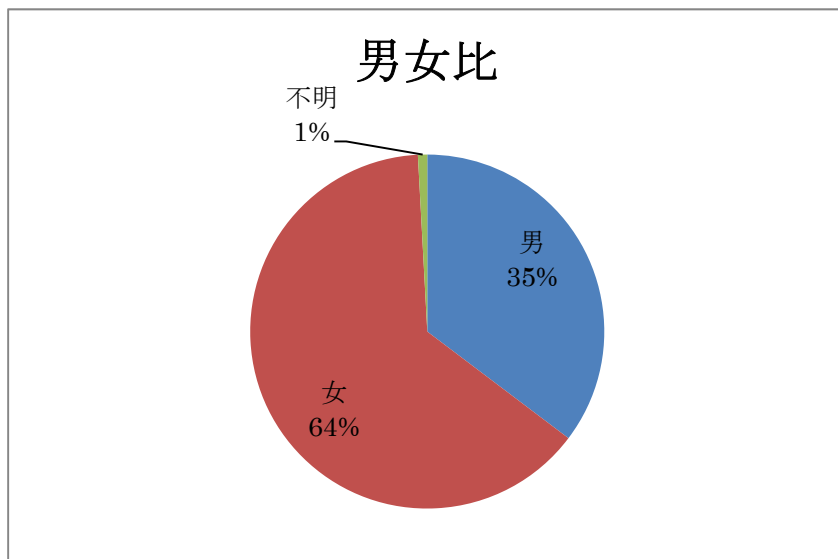
1. 参加者数134名 + 事務局16名（医師会4名・薬剤師会1名含む） 150名
医療系（医療機関+薬局+訪問看護） 58名

【参加者職種】

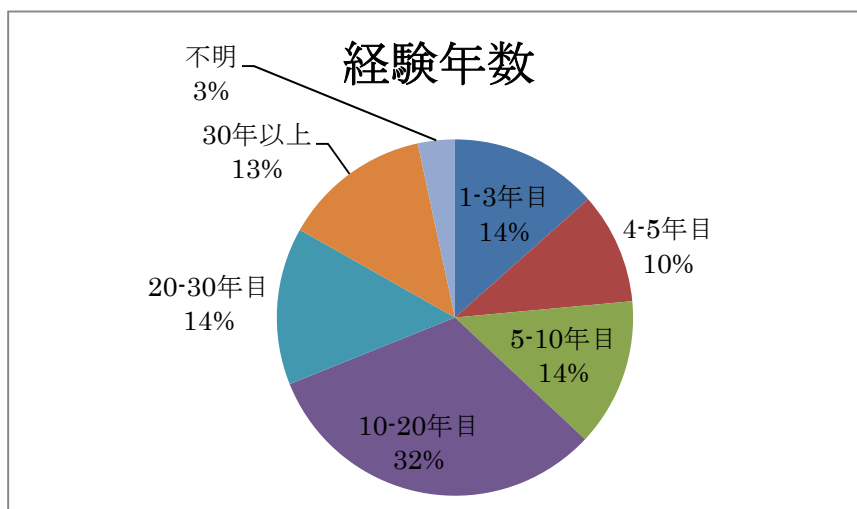
医師	7名
歯科医師	2名
薬剤師	15名
看護師・保健師	27名
相談員	19名（医療系7名）
ケアマネ	29名
リハ職	7名
介護職	21名
栄養士	2名
事務・その他	5名

2. アンケート結果（119名回答）

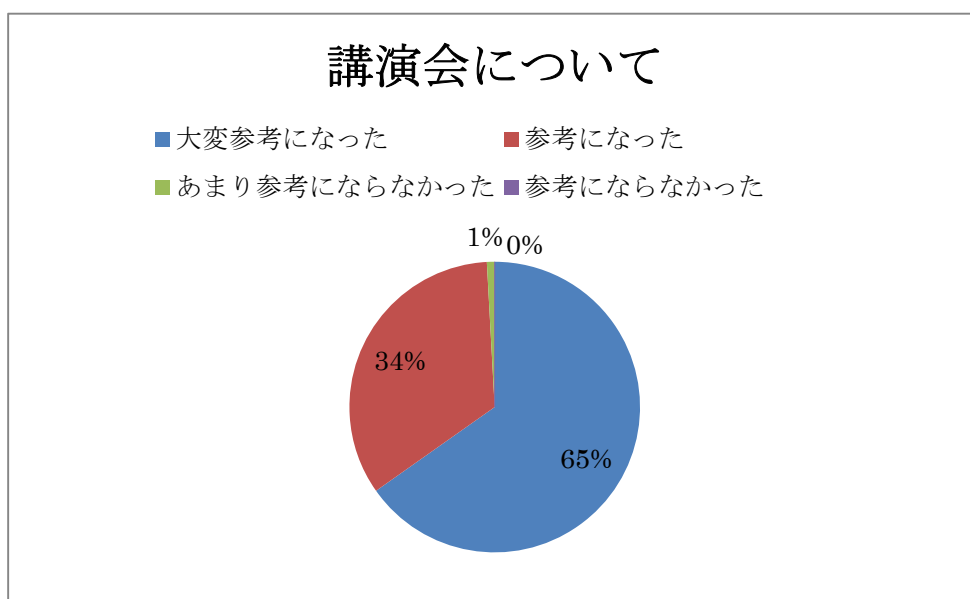




アンケートの回答者は、男性42名、女性76名であった。



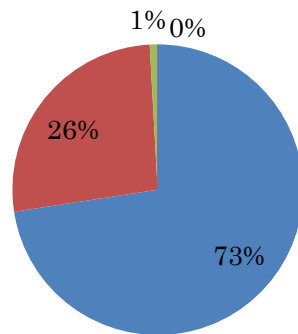
業務における経験年数は10年～20年目の方が38名と32%を占めた。それ以外では、各経験年数がバランスよく参加した。



講演会については、75名の方が大変参考になり、39名の方が参考になったと回答した。

GWについて

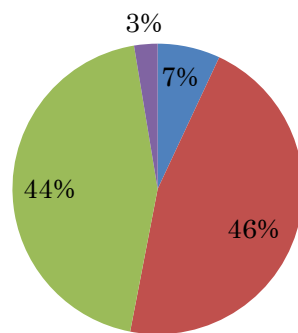
- 大変参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった



GWについて、大變参考になったが82名と昨年の47%から73%に大幅に伸びた。GWの時間を長く設定したことや薬をテーマにしたことが数字に表れたのかもしれない。GWの重要性もあらためて認識することができた。

連携について

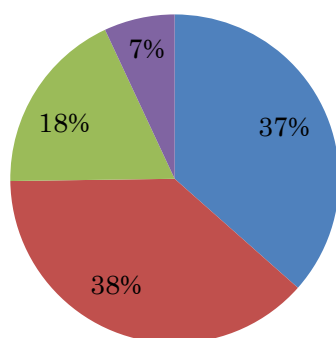
- 大變良くできている
- 良くできている
- あまりできていない
- できていない



多職種連携については、良くできているが53名に対し、あまりできていないが51名を占めたが、「あまりできていない」の割合は昨年の51%から44%に減っている。

多職種研修参加回数

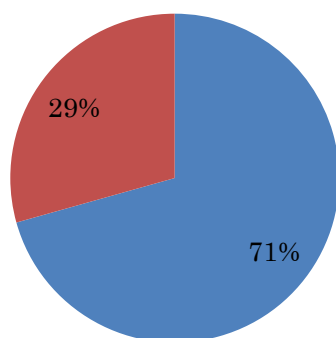
■ 初めて ■ 1-2回目 ■ 3-5回目 ■ 6回以上



多職種が連携した研修会への参加回数は、初めての人が42名と一番多く今後の継続的な実施が必要と分かった。

研修前後の意識変化

■ 変わった ■ 変わらなかった



研修の前後で多職種連携に対する意識が変わった方が77名いた。研修実施が多職種連携の推進に必要なことが分かった。

◆自由記載欄回答（主な意見）

【講演会について】

- ・ 普段見えにくかった薬剤師さんの仕事がわかり、もっと連携する機会を持つことができると思いました。
- ・ 薬はとても管理が大変です。院外薬局さんがここまでしてくれるとは思っていなかったの
で、とてもためになりました。
- ・ お薬手帳を活用した連携シートについて知ることができた。
- ・ わかりやすい説明でした。薬局で薬を処方するだけでなく、薬剤師の方もチームの一員として活躍していることを学びました。

【グループワークについて】

- ・ 多職種の情報共有の大切さがよくわかりました。顔の見える関係を作っていきたいです。
- ・ グループの中に医師、薬剤師、看護師など、たくさんの職種の方がいて、いろいろな目線での話がきけた。
- ・ 在宅サービスの困難さや、医療との連携の難しさなど体験談を伺えて、大変参考になりました。
- ・ 他の職種の方のお話を聞いて、困っていること、できること、お互いがわかった。その上で自分たちができることを考えることができた。

【多職種連携について】

- ・ 各々の情報交換の必要性はあると思うがなかなかできてない。
- ・ 顔を出す人が多くなり、顔の見える連携が少しずつできてきたと思います。
- ・ 細めに連携をとっているつもりでしたが、まだまだ情報共有が足りないと思いました。
- ・ 制度も変わった影響もあり、入退院時の情報交換が増えている。お互いに意識していると思われる。業務上、連携に心掛けています。
- ・ それぞれが、多職種連携のメリットをもっと実感していくことが大切だと思う。

【多職種連携に対する意識について】

- ・ 近い悩みがあり、考えの違いから新しい視点を持つことができて有意義でした。
- ・ 今まで以上に連携の必要性と、連携が進んでいる手ごたえがあった。
- ・ 多職種からのアプローチを意識していかなければならないと思った。
- ・ 改めて色々な職種の方と話をし、情報共有の重要性を再認識できた。
- ・ 役割の具体的内容が理解できると相談協力等が一層しやすくなりました。
- ・ 連携の難しさを感じる。大きな制度の変更や、意識変革が必要だと思う。